

平成 27 年度 第 1 回教区寺院セミナーアンケート結果

平成 27 年 6 月 9 日

1. 「拈華微笑」の講義を聞いて如何でしたか。

- ・物質的なものではなく「心」が大事、目に見えないものが大切であると我々自身が人に説きながら、少しも実践していなくては全く説得力がない、実践こそ大事と教えて頂いた。
- ・良いことを言うだけでなく実践がやはり大事だと再確認できた。
- ・中国の話など体験談が印象に残った。
- ・中国のイメージと違う部分や数学者の言葉など、様々な視点の話が聞けたので大変為になった。
- ・老師の講座を聞ける機会は貴重なのでとても良かった。
- ・中国で経験された貴重な話を聞けたこと、普段自分が物を求めていると気付かされた。
- ・僧侶としてどのように生活していけばよいかということについて指針となるような公案だと感じた。
- ・日本にある仏教の歴史の原点は「拈華微笑」からきていると実感した。
- ・妙心寺派僧侶にとって大切な公案である事を本山の話を交え分かり易く説明して頂いた。

2. 「梵唄実習」を受けて如何でしたか。

- ・日常のことではあるが油断して丁寧さを欠いてはいけないと思った。
- ・経首の始め方を習ったが帰ってから教わったことを練習したいと思った。
- ・すぐに使える実習でとても為になった。
- ・細かい上がりや下がりやあたり方など学べたので良かった。
- ・普段読んでいる回向が正しいと思っていたが、正しい決まりの元で回向が存在する事がはじめてわかった。
- ・昔のカセットで勉強した者にとっては違った所が多いのが気になった。CD を購入して勉強したい。
- ・説明を聞きながら実際自分で詠むというやり方がとても良かった。

3. 「法式実習」を受けて如何でしたか。

- ・当たり前と思われていた所作の一つ一つに気を抜いて、雑にしていた事を思い知らされた。
- ・実用的な所作で基本的な事だったが再確認することができて良かった。
- ・本山のやり方を知る事が出来てとても勉強になった。
- ・内陣の中の動きは実際、どの様に動くのか分からなかった為知る事ができて良かった。
- ・先生の所作がきれいで感動した。自分も日々努力していきたい。
- ・今までいけないことと覚えていたことがやっても構わないと聞き、慣習等いろいろと複雑になっていると感じた。
- ・それぞれの地域・お寺でやり方が違う事を統一していくことは難しいと思った。
- ・僧堂が妙心寺派ではないので戸惑ったが非常に勉強になった。

- ・僧堂で教えられたのと違い驚いた。

4. 「住職研修会」の内容をどう感じられましたか。

- ・日常底を見つめ直す機会となった。危機感を持って一僧侶として精進しなくてはいけないと思った。
- ・若い副住職にはとても為になることで、良い時間を過ごす事が出来た。
- ・為になることが多くこれからも参加したいと思った。
- ・長い時間の講座ではなく短めに区切りがあるとありがたいと思った。
- ・ビデオで撮った研修の様子を、法式実習の復習などで利用できるようになるといいと思った。
- ・実践的でとても役に立ち、次回も参加したいと思う内容だった。
- ・多くの事を学ぶ事が出来、また再確認することが出来た。家に帰って復習したいと思った。

5. 今後の教区寺院セミナーでどのような内容を希望されますか。

ご意見をお聞かせください。

- ・法要の意味の説明をお願いされる機会が年々増えているので、お経の意味や要約、7日経や法要後期の意義を手短かに説明できるようになりたい。
- ・未来塾などは資金が高いので、セミナーで講師として講義を行ってもらえるとありがたい。
- ・法話実習など
- ・今回のような梵唄や法式実習をまた受けたいと思った。
- ・「お墓」に関する知識を学びたい。石塔の意味、永代供養や散骨はどうあるべきか？など
- ・今回のような実践的な内容を希望する。また老大師の法話が聞けることもとても楽しみである。
- ・齋会や津送、落慶などの主催するほうの立場として何をすればいいのか教えてほしい。
- ・宗門寺院が衰退しない為に何を行ったらいいか知りたい。
- ・葬式の導師をしたことがないが、今後務めるにあたり戒名を決めたり引導の語を考える時に何か妙心寺派としての基準のようなものがあれば教えてもらいたい。